

生活を支える「水」の大切さを感じて ～次代を担う中学生が職業体験～

当企業団は、次世代を担う中学生の皆さんに生活を支える「水」の大切さを感じてもらい、水道水ができるまでを実際の仕事を通じて体験していただくことを目的として、横浜市立原中学校（瀬谷区）の進路学習の一環として行われている職業体験を、平成21年度から受け入れています。

今年度も原中学校の生徒3名を受け入れましたので、その概要をお知らせします。

1 日 時 平成28年6月23日（木）9：00～16：00

2 職業体験の場所と内容（職業体験の様子は別添のとおりです）

○ 社家取水管理事務所（海老名市）

- ・ 沈砂池、ピオトープ見学（河川水から砂を取り除く施設、湿地を再現した施設の見学）
- ・ 管理室の仕事について（担当者から普段の業務について説明）

○ 広域水質管理センター（海老名市）

- ・ 臭気検査体験（河川水、かび臭、油様臭の水について臭気検査を体験した）

○ 綾瀬浄水場（綾瀬市）

- ・ 凝集沈殿、濁度測定体験（浄水処理の仕組みを体験して学ぶ）
- ・ 残留塩素濃度の測定体験（浄水処理の各段階における残留塩素濃度の違いを実験）

○ 水運用センター（横浜市旭区）

- ・ 水運用センターの仕事について（企業団の総合的な水運用の説明）
- ・ 浄水場・取水管理事務所の監視カメラの操作体験

3 生徒の感想

- ・ （凝集沈殿の）実験や（濁度・残留塩素濃度の）測定が面白かった。
- ・ 川の水が飲み水に変わっていくこと（浄水場の処理過程での変化）が印象に残った。
- ・ 水道水をたくさん作るのに、少ない人数で頑張っていてすごいと思った。
- ・ 季節や天気、（1日の中でも）時間にあわせて水を作る量を調整しているのがすごい！

4 広域水質管理センター所長のコメント

近い将来、県民の豊かな暮らしを支える仲間として、一緒に働ければ幸いです。

なお、当企業団では、今回の職業体験のほか、家族で水道の仕組みを学べるイベントも開催します。ぜひお越しください。

<みずきフェスタ2016【夏】の開催（特別開放イベント）>

- 日時 平成28年7月23日（土） 午前10時から（荒天中止）
- 場所 神奈川県内広域水道企業団 社家取水管理事務所（海老名市社家4587番地）
- 内容 普段入ることのできない取水堰の上を歩く、野鳥観察、魚道観察
夏休みの自由研究に使える「水の学習シート」の配布
科学の実験ショーやお子様も楽しめるボールプール
当企業団のゆるキャラ「ウォービー」との記念撮影 など
詳しくは当企業団のホームページ（www.kwsa.or.jp）をご覧ください。

（問い合わせ先）

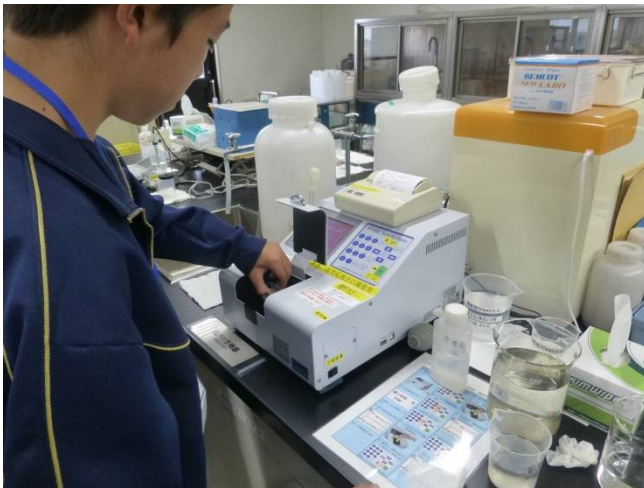
神奈川県内広域水道企業団 総務部 広報・渉外担当課長 富安 【電話】045-363-1829



沈砂池の見学（社家取水管理事務所）



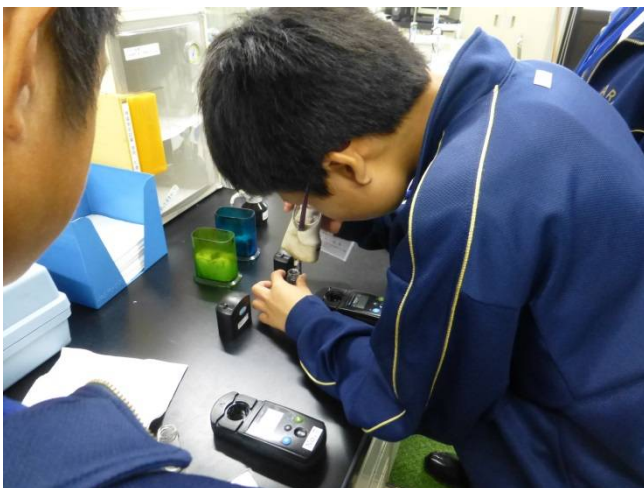
管理室の仕事について（社家取水管理事務所）



濁度測定体験（綾瀬浄水場）



凝集沈殿体験（綾瀬浄水場）



残留塩素濃度測定体験（綾瀬浄水場）



浄水場・取水管理事務所の監視カメラの操作体験
（水運用センター）